

# 2024年3月期 決算説明資料



「サンクチュアリコート高山 アートギャラリーリゾート」 2024年3月開業

リゾートトラスト株式会社（証券コード4681）

## ① 通期売上高、営業利益、経常利益において過去最高を更新。

**2024年3月期実績：連結売上高 2,018億円、連結営業利益 211億円**

- ・当期純利益では、特別利益約90億円を計上した前期をやや下回ったものの、それを除けば、売上高および全ての利益項目で過去最高益を更新し、また、昨年11月に上方修正した利益計画を全て上回った。
- ・3月25日「サンクチュアリコート高山」が開業し、繰延べていた不動産利益を一括計上。
- ・ホテル事業では人件費等の増加を稼働・単価上昇効果が上回り増益。第4四半期に社員寮等の追加営繕を実施。

## ② 会員権販売の契約高がホテル、メディカル共に過去最高を更新。

**2024年3月期「契約高」934億円（ホテル・メディカル・ゴルフ合計）**

- ・ホテル会員権では838億円となり、サンクチュアリコートシリーズを中心にホテル会員権販売が好調に推移。前年、2物件の発売効果があり過去最高であった826億円を、更に上回った。
- ・メディカル会員権も87億円となり、これまで過去最高であった2022年3月期の74億円を20%近く更新した。

## ③ 進行年度は売上高、営業利益、経常利益で更に過去最高更新を見込む。

**2025年3月期計画：連結売上高 2,332億円、連結営業利益 220億円**

- ・上期の販売在庫状況を勘案し、契約高は前期を若干下回る想定。年度の中盤以降には新規物件を複数投入予定。
- ・10月に「サンクチュアリコート琵琶湖」が開業し、繰延べている不動産利益を一括計上予定。
- ・翌期、中計3年目の2026年3月期に向け3期連続最高益を予定。3年目目標値については精査・見直しを検討中。

# 決算ハイライト（4-3月）

RESORTTRUST GROUP

## 【年間連結業績】

2023.11月公表

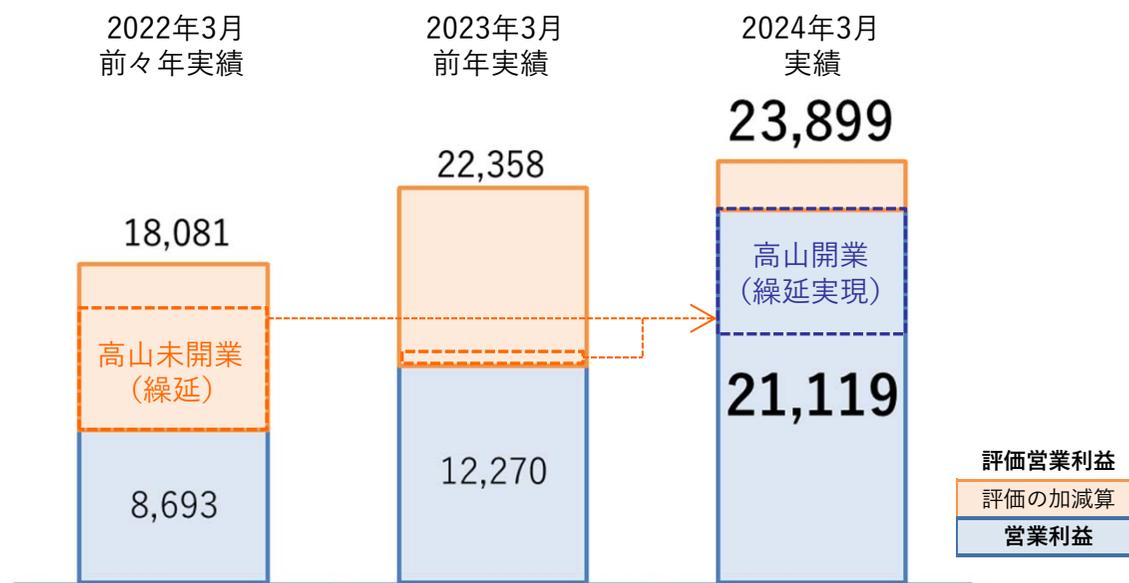
2023.5月公表

（百万円）

	2023年3月 実績	2024年3月 実績	前年比	2024年3月 修正計画	修正計画比	2024年3月 期初計画	期初計画比
売上高	169,830	201,803	+18.8%	202,000	△0.1%	200,000	+0.9%
営業利益	12,270	21,119	+72.1%	21,000	+0.6%	18,000	+17.3%
経常利益	13,247	21,807	+64.6%	21,200	+2.9%	18,000	+21.2%
当期利益	16,906	15,892	△6.0%	15,000	+5.9%	12,000	+32.4%
評価売上高	205,304	215,275	+4.9%	214,300	+0.5%	208,000	+3.5%
評価営業利益	22,358	23,899	+6.9%	22,300	+7.2%	17,800	+34.3%

※当資料では、親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益を「当期利益」と表記しております。

## 【年間累計 評価営業利益の過去3ヵ年推移】 ※青のグラフの数値は計上ベースの営業利益

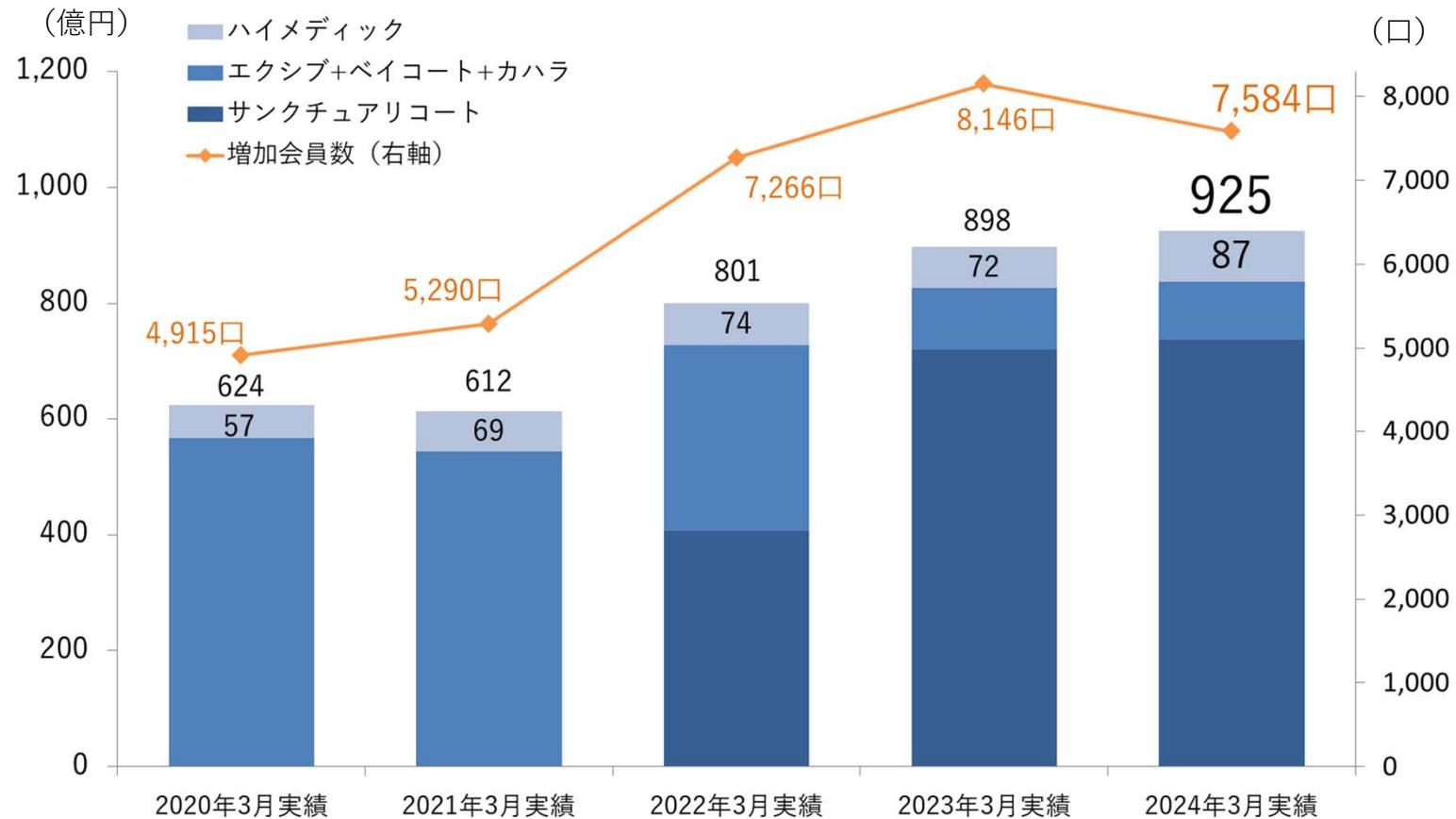


< 評価売上高、評価営業利益とは >  
 ⇒ 会計上の特殊要素を実力値にした業績（営業評価ベース）

- ・ 未開業物件不動産収益の繰延べ（開業時までには計上されない）
- ・ 2021.4以降の収益認識基準変更（従来方法で評価）等

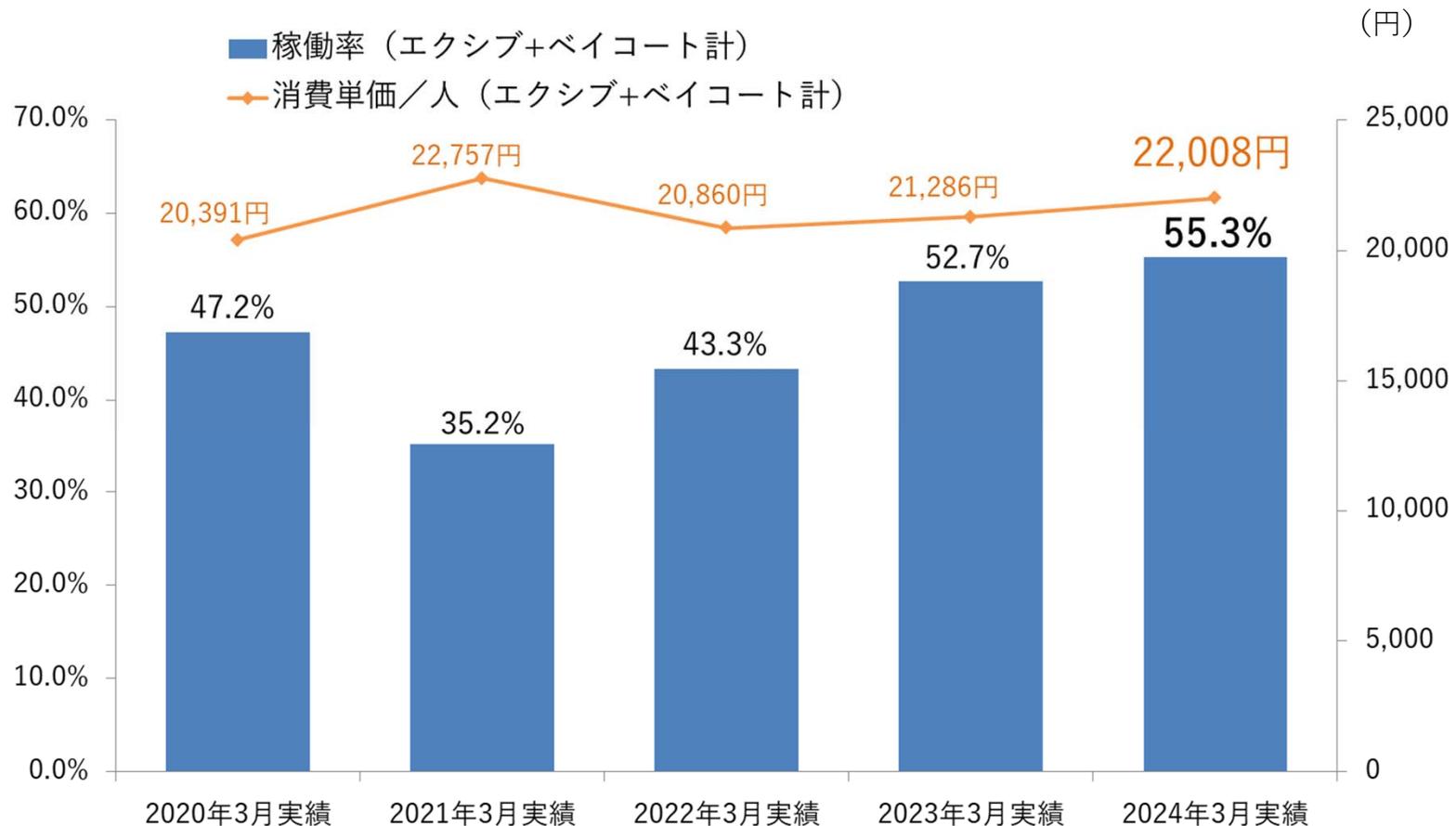
# 決算概況①年間契約高／増加会員数

【年間累計 契約高／増加会員数】（ホテル+メディカル）



- ・ホテル契約高は、琵琶湖・日光と2物件の発売効果を含む過去最高の前年実績（2023年3月期）をさらに上回った。メディカルも過去最高の販売ペースを維持しており、特に下期は加速した。
- ・会員増加数（口数）は、物件別・タイプ別の在庫進捗に応じた戦略的な切替を行っていたこともあり前年度に比べてやや減少となったものの、7,500口を超える順調な増加となった。

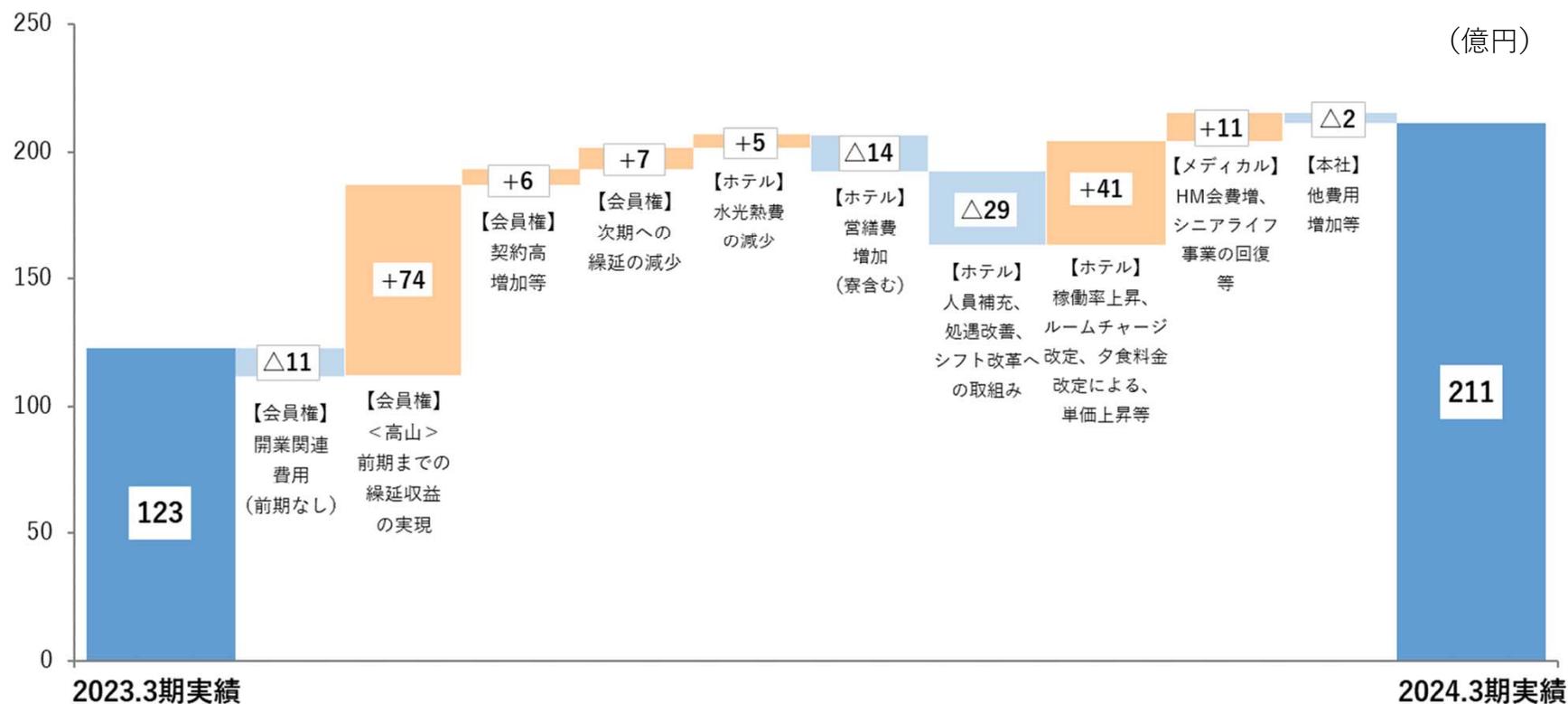
【年間累計 稼働率・単価（施設売上／宿泊人数）】



- ・ 会員制ホテルの稼働率は、コロナ前を超えて大きな回復を見せた前年をさらに上回った。
- ・ 単価も2022年11月からの価格改定が通期寄与し、対前年で順調に上昇している。  
(2021年3月期は、コロナ禍の稼働低下に伴い単価が上昇していた要因もあり。)

# 決算概況③ 年間営業利益の状況（前年対比）

【年間累計 連結営業利益増減（対前期）】



・ 会員権事業、ホテル運営事業において人件費等のコストの上昇があったほか、社員寮などへの修繕の増加があったが、ホテルの稼働率や単価の上昇等によりそれらを補って前年比でプラスとなった。  
 ・ ホテル会員権、メディカル会員権の販売は極めて順調に推移。シニアライフ事業の収益回復も寄与。

## 収益力の向上・収益性の改善

※下線部は1-3月における変化・進捗

- ・ 会員権価格の見直し ⇒ 6月より（サンクチュアリコート日光は9月末より）約5%値上げ
- ・ 新規着工施設の検討 ⇒ 東名阪の在庫状況を勘案し、進行年度に2ヵ所以上の着工を予定
- ・ WEB経由予約、スマートチェックイン/アウトの浸透 ⇒ WEB予約率上昇中、目標50%へ
- ・ ハイメディック新規施設（大阪/東京/横浜）を公表、大阪中之島は新価格で12月に発売
- ・ シニアレジデンス新商品第一号の都心部の計画を公表、ホスピスケア導入施設の拡大
- ・ 海外倶楽部との施設相互利用の契約を締結、1月よりサービスを開始
- ・ デジタル活用契約の推進（見込み客の増加）等、販売チャネルの充実と営業活動の効率化
- ・ LINE公式：お友達数の拡大（2023.3末：21.5万人 ⇒ 2024.3末：31.9万人へ増加）

## 人財・サステナビリティ

- ・ 処遇改善の実施 ⇒ ベア+昇給、賞与乗率の引き上げ・安定化、中抜けの見直し、寮営繕実施
- ・ 社員持株会を通じた社員への自社株式の付与を実施 <ES/エンゲージメントスコア上昇>
- ・ 採用活動の充実 ⇒ リファラル採用、エリア採用、スポット採用、外国人採用等の加速
- ・ 太陽光発電を全拠点導入、「TNFD Adopter」に登録（ダボス会議にて「Early Adopter」として公表）
- ・ サステナビリティフォーラムの定期的な実施、地域やお客様と連携した活動の検討
- ・ 部門間クロストレーニングの始動

## 資本効率・ガバナンス

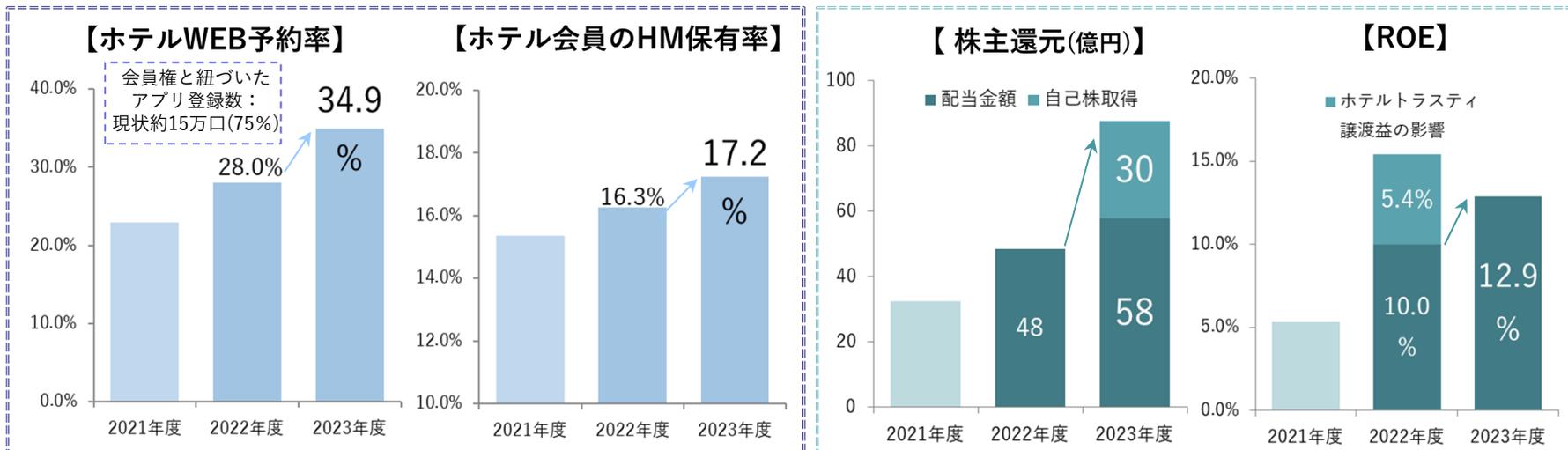
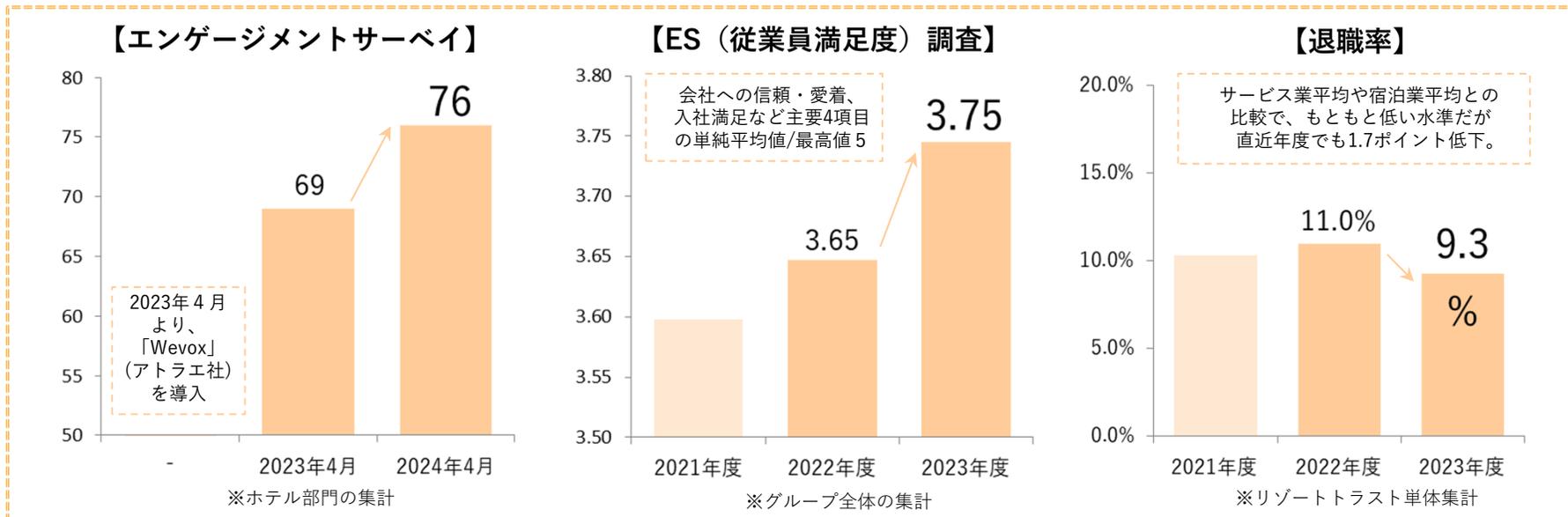
- ・ 取締役会のガバナンス体制強化・独立性向上に向け、6月より新任社外取締役3名が就任
- ・ ROE12%の目標水準に向け、より資本効率を重視する経営へ ⇒ 自社株買い30億円を実施済
- ・ MSCIの女性活躍指数に加え、ESGセレクトリーダーズ指数に新たに選出

新中期経営計画「サステナブルコネクト」の推進

# 決算概況⑤参考：2023年度の施策関連データ

RESORTTRUST GROUP

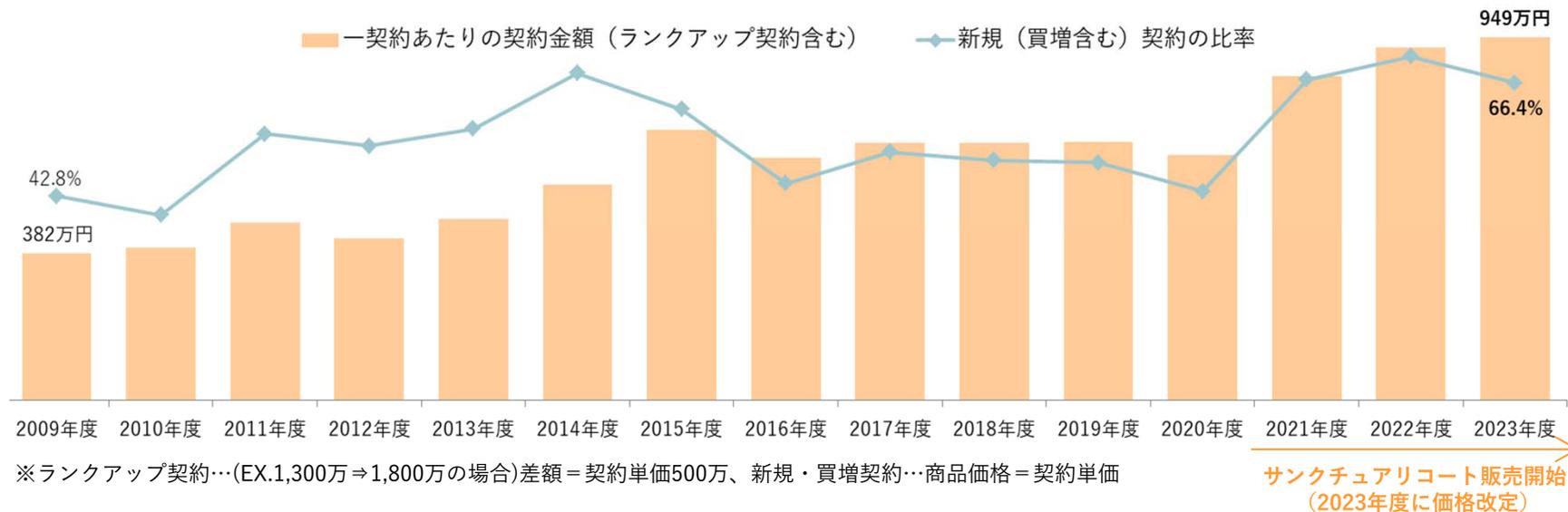
【参考データ】中計の達成に向け各施策を実施する中で、人財関連を中心にPL項目以外の各種指標も改善傾向で推移



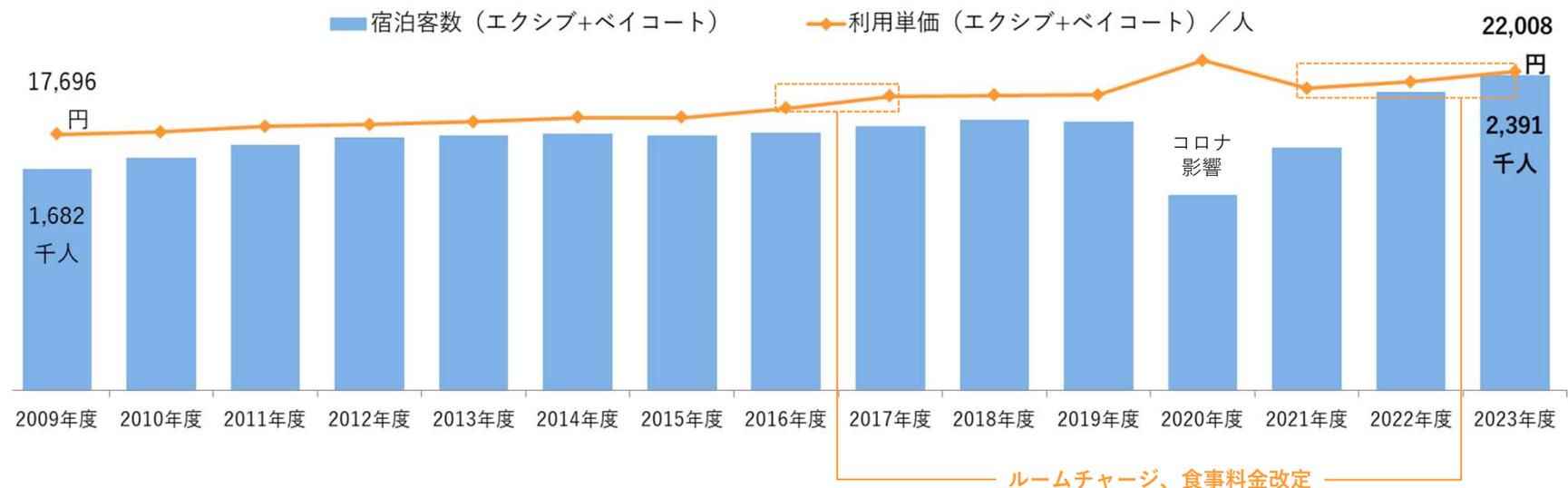
新中期経営計画「サステナブルコネクト」の推進

# 決算概況⑥参考：契約・利用単価の長期推移

【ホテル会員権販売】 主力販売商品の価格帯の上昇に加え、新規契約割合の高まりに伴って契約単価が上昇傾向



【ホテル運営】 離宮シリーズなど、相対的に高単価な施設に稼働の比重が徐々に移り、長期トレンドで上昇を継続



# セグメント別実績（4-3月） 主要3事業セグメント

RESORTTRUST GROUP

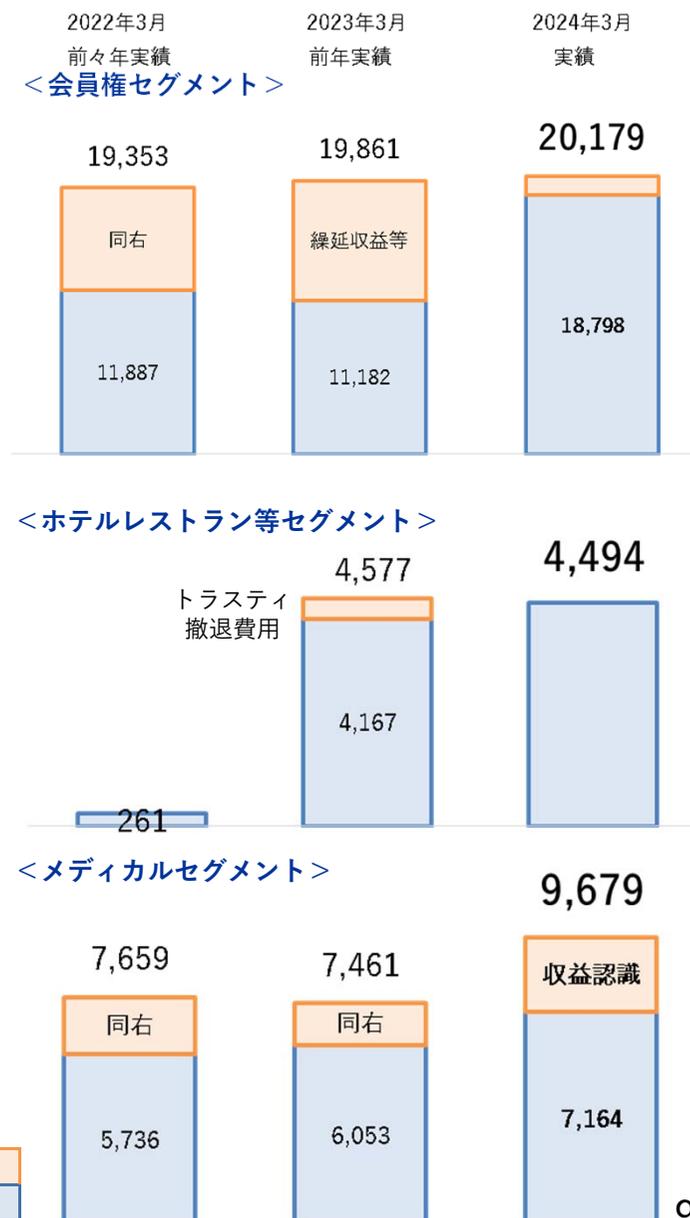
## 【年間累計セグメント業績】

(百万円)

		2023年3月	2024年3月	前年比	2024年3月	修正計画比
		前年実績	実績		修正計画	
会員権	売上高	34,945	58,701	+68.0%	60,610	△3.1%
	営業利益	11,182	<b>18,798</b>	+68.1%	18,400	+2.2%
ホテル レストラン	売上高	89,747	95,492	+6.4%	94,130	+1.4%
	営業利益	4,167	<b>4,494</b>	+7.9%	5,180	△13.2%
メディカル	売上高	44,422	46,899	+5.6%	46,590	+0.7%
	営業利益	6,053	<b>7,164</b>	+18.4%	6,930	+3.4%
会員権	評価売上高	69,011	69,658	+0.9%	72,000	△3.3%
	評価営業利益	19,861	<b>20,179</b>	+1.6%	20,190	△0.1%
ホテル レストラン	評価売上高	89,747	95,492	+6.4%	94,130	+1.4%
	評価営業利益	4,577	<b>4,494</b>	△1.8%	5,180	△13.2%
メディカル	評価売上高	45,831	49,414	+7.8%	47,500	+4.0%
	評価営業利益	7,461	<b>9,679</b>	+29.7%	7,840	+23.5%

## 【年間累計 評価営業利益の過去3ヵ年推移】

(百万円)

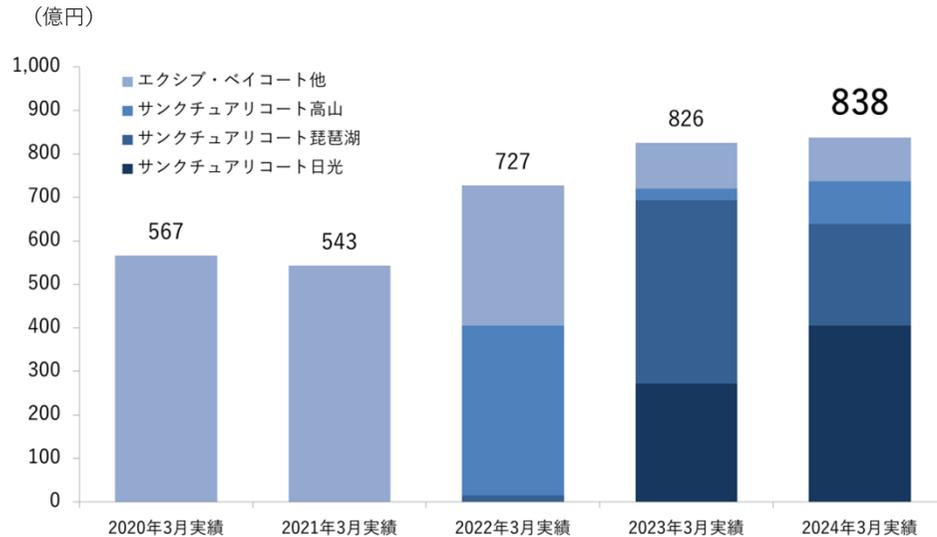


- ・会員権：2023.3期までの高山の繰延利益74億のほか、開業関連費用11億を計上。
- ・ホテルレストラン：当期の営業内容としては稼働、単価共に大きく上昇した中、4Qに社員寮を含む修繕を政策的に実施（通期前年比:13億増、計画比:10億増）。
- ・メディカル：ハイメディックの伸びの他、シニアライフ事業の収益性改善が寄与。

# 会員権セグメント 契約状況（4-3月）

RESORTTRUST GROUP

## 【商品別ホテル契約高】 2024年3月に開業した「高山」が増加



## 【サンクチュアリコートシリーズ3物件を販売中】



高山  
2024年3月  
開業  
121室



琵琶湖  
2024年10月  
開業予定  
167室



日光  
2026年2月  
開業予定  
162室

<販売率※: 高山91% 琵琶湖83% 日光88%>  
2024.3末ホテル会員権在庫: 385億円

※当初回収予定額に対する契約高の進捗率  
※販売後の契約施設変更分を加味して算出

## 【デジタル活用契約高(内数)】 每期順調に配信先と契約が増加



## 【金融機関／ホテル紹介経由契約高(内数)】

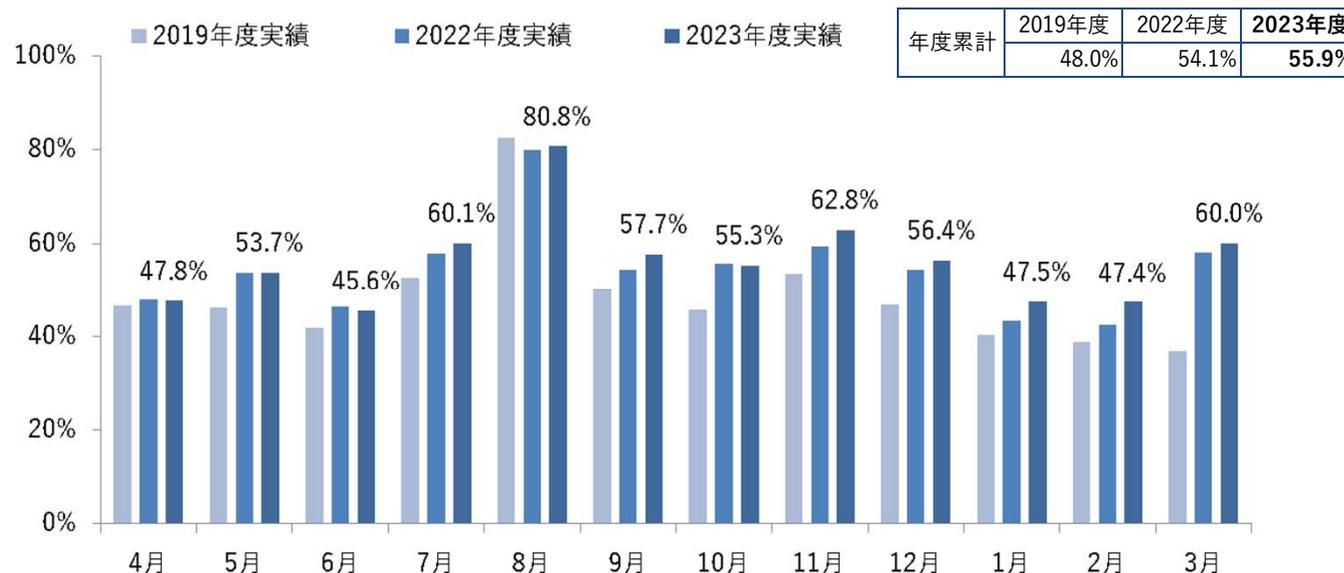
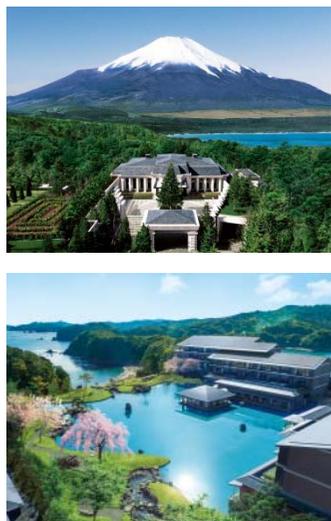


# 会員制ホテル稼働率（月別ブランド別）

RESORTTRUST GROUP

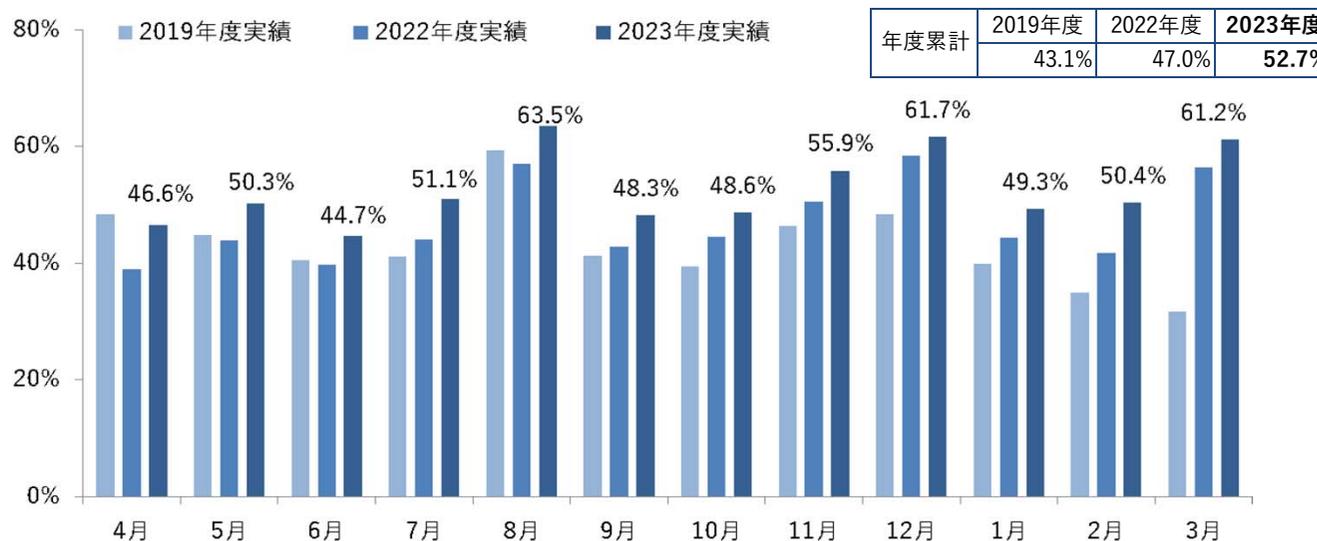
## 【エクシブ：全3,613室】

既に前年もコロナ前を超えて回復していたが、7月以降は概ね前年を超過、累計でも前年を上回った。



## 【ベイコート：全824室】

コロナ禍からの回復が遅れていた都市部の「東京ベイコート倶楽部」を中心に大きく上昇。



# 一般ラグジュアリーホテル稼働率（カハラブランド）

RESORTTRUST GROUP

## 【ハワイカハラ：338室】

日本人の渡航の戻りはまだ限定的。コロナ前対比8～9割での推移。 ※ハワイカハラは3ヵ月遅れで連結



## 【横浜カハラ：146室】

コロナ禍に開業。今期も対前年で稼働率の上昇を継続。



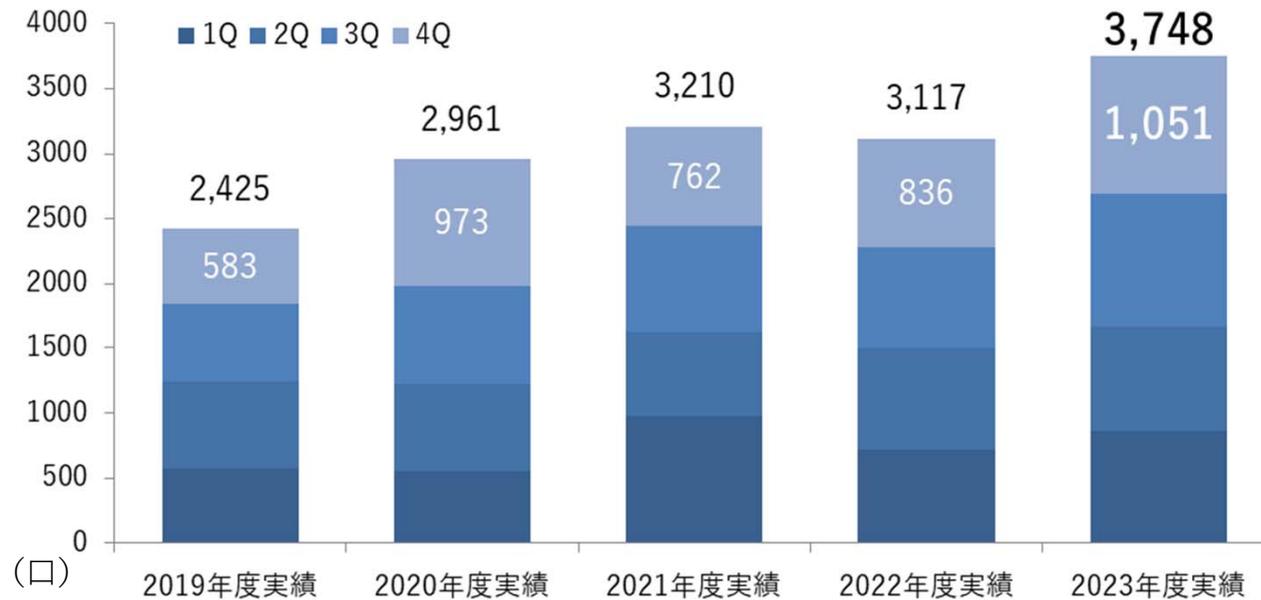
# メディカルセグメントの販売／入居状況

RESORTTRUST GROUP

## 【ハイメディック販売口数】



2020年度より年間3,000口ペースとなり、今期は更に大幅に過去最高を更新した。

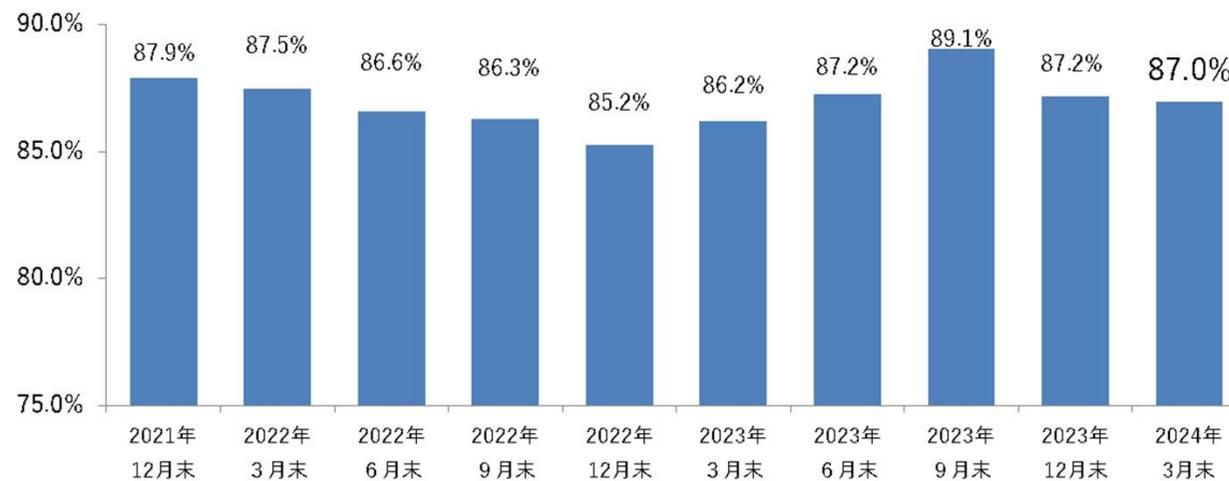


## 【シニアレジデンス入居率】

全2,093室



2022年12月末以降に上昇に転じているが、当期下半期はやや低下傾向で推移。



# 2025年3月期 計画

RESORTTRUST GROUP

## 【連結損益】

	2024年3月期 実績	2025年3月期 計画	差異
売上高	201,803	<b>233,200</b>	+31,397
営業利益	21,119	<b>22,000</b>	+881
経常利益	21,807	<b>22,500</b>	+693
当期純利益	15,892	<b>15,900</b>	+8
評価営業利益	23,899	<b>22,300</b>	△ 1,599

## 【セグメント売上/営業利益】

		2024年3月期 実績	2025年3月期 計画	差異
会員権	売上	58,701	<b>76,090</b>	+17,389
	営業利益	18,798	<b>17,690</b>	△ 1,108
	評価営業利益	20,179	<b>18,469</b>	△ 1,710
ホテル レストラン	売上	95,492	<b>105,720</b>	+10,228
	営業利益	4,494	<b>4,570</b>	+76
	評価営業利益	4,494	<b>4,570</b>	+76
メディカル	売上	46,899	<b>50,740</b>	+3,841
	営業利益	7,164	<b>7,270</b>	+106
	評価営業利益	9,679	<b>8,126</b>	△ 1,553
その他	売上	710	<b>650</b>	△ 60
	営業利益	767	<b>710</b>	△ 57
本社費 (間接費)	営業利益	△ 10,105	△ <b>8,240</b>	+1,865
	評価営業利益	△ 11,221	△ <b>9,575</b>	+1,646
合計	売上	201,803	<b>233,200</b>	+31,397
	営業利益	21,119	<b>22,000</b>	+881
	評価営業利益	23,899	<b>22,300</b>	△ 1,599

※会員権セグメントの開業準備費用を評価利益上は本社に含む

## 【対前期 算定上の主な差異】

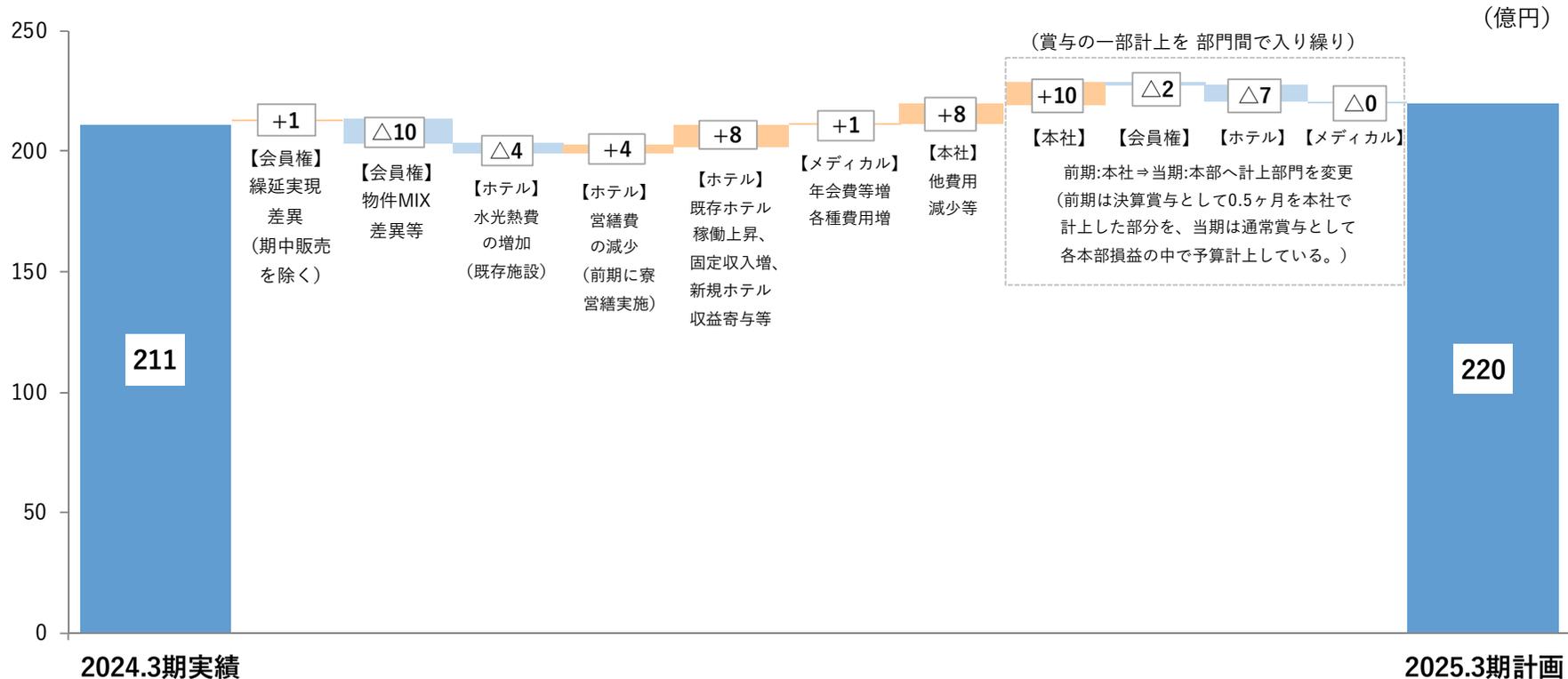
<売上高/営業利益>

- ・ホテル会員権契約高  
2024.3期：838億（新規発売なし）  
2025.3期：839億（新規発売物件2物件を予定）
- ・ハイメディック契約高  
2024.3期：87億 2025.3期：74億
- ・繰延実現（前期までの販売済分の計上）  
2024.3期：繰延実現利益+74億（高山）  
2025.3期：繰延実現利益+75億（琵琶湖）
- ・当期繰延発生（未開業物件販売）  
2024.3期：繰延利益△74億（琵琶湖、日光）  
2025.3期：繰延利益△70億（日光、新規）
- ・開業関連費用  
2024.3期：△11億 2025.3期：△13億
- ・運営営繕費（寮を含む）  
2024.3期：△40億 2025.3期：△36億
- \* 賞与計上部門の差異（セグメント間の負担変更のみ）  
2024.3期：0.5ヵ月分を決算賞与として本社費で計上  
2025.3期：上記0.5ヵ月分を含め各セグメントで計上  
（本社費減+10億、ホテルレストラン△7億 他）
- ・ホテル稼働率  
X I V …2024.3期：55.9% 2025.3期：57.4%  
B C C …2024.3期：52.7% 2025.3期：54.4%

# 2025年3月期計画：営業利益の状況（前年対比）

RESORTTRUST GROUP

## 【2025年3月期通期計画】営業利益増減（対前期）



- ・ 会員権事業ではホテル契約高は同水準も、販売物件MIXの違い等で若干の利益減を見込む。
- ・ ホテルレストランにおいては、人件費等のコスト上昇要因を稼働上昇や固定収入の増加が上回り、実質で8億規模の増益。本社費は一部コストの計上部門の入り繰り、前期に発生した50周年に関連するコスト等、費用の減少を見込む。

# 中期経営計画 数値目標 (2023.4~2028.3)

RESORTTRUST GROUP

## 【5カ年共通目標】

全体指標	2023.4~2028.3
売上高営業利益率	10%以上
営業利益成長率	年平均10%以上 ※ 2024.3期初計画を起点
ROE	10%以上12%を 目指す
還元方針	40%以上を目安に 安定的に還元
連結契約高	2028.3期：10%成長 (対2024.3期初計画比)
ホテル稼働率 (全ブランド合計)	2028.3期：60%以上 (対2024.3期初計画比+5 P)

## 【今後3年間の業績数値目標】

単位：億円	2022年度	2023年度 (初年度)	2024年度 (2年目)	2025年度 (3年目)
指標	前年実績	実績	期初計画 【2024.5.15公表】	当初目標 【2023.5月公表】
売上高	1,698	2,018	2,332	2,300
営業利益 (当初目標)	122	211 (180)	220 (200)	230
営業利益 成長率	+41.2%	+72.1%	+4.2%	-
経常利益	132	218	225	230
当期純利益	169	158	159	150
ROE	15.4%	12.9%	12.0%	12%を 目指す
評価 営業利益	223	238	223	営業利益と 同程度を想定

※2025年度（3年目）の目標値は、今後精査・見直しを検討

# 開発スケジュール

- ホテルはサンクチュアリコート 3 物件の後、2024年度以降も概ね 1 年間に 1～1.5施設のペースで開発を予定。
- ハイメディックは、2024年度に 2 カ所、2026年度に 1 カ所の開業を予定し、42,000口体制を構築。

<販売および開業スケジュール\_2024年 5 月 15 日時点> ※今後変動の可能性あり ● 販売開始 ● 開業・取得 (契約前案件含む)

年度		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
販売・開業 スケジュール	会員制 リゾート ホテル		● 高山 (121室)		●				
			● 琵琶湖(167室)		●				
			● 日光(162室)				●		
					●			●	
						●			●
							●		●
								●	●
開業 スケジュール	会員制 検診クラブ				● 東京				
				● 大阪 (中之島)			● 横浜		

2024年度以降の会員制リゾートホテル開発物件は、現時点で新規に 7 ヶ所以上を検討中であり(未取得の土地含む)、更に他の候補地も継続検討。並行してエクシブの旧物件についても、今中計期間より順次、再投資(リニューアル/建て替え等)に向けた検討を開始。

レジデンス物件は東京都心部に、第 1 号の土地を検討中。今後のスピーディな展開に向け、シニアレジデンス開発に強みを持つパートナー企業とともに展開を予定。

# < 当社四半期業績に関するご参考 >

— 個人投資家の皆様へ —

「会員制リゾート事業」やメディカル事業を行う当社グループの業績は、単年度の四半期毎の業績において、以下の特徴的な動きが生じます。

- 会員権事業においては、開業と同時に、不動産利益を一括で計上する。開業物件がある期、特に開業する四半期の利益が、大きく上昇する。(2023年度4Q(高山)、2024年度3Q(琵琶湖)、2025年度4Q(日光)の開業時に大きく上昇する見込み。)
- リゾート地のホテル稼働は都市部と比較し、季節による繋閑差が生まれやすく、且つ、閑散期には修繕等をかけやすいためコストを多くかける。利益影響：夏場等の繁忙期(2Q~3Q) > 冬場等の閑散期(4Q)

(こちらもご参考下さい) 当社HP「個人投資家のみなさまへ」 <https://www.resorttrust.co.jp/ir/investor/>  
「決算説明資料補足資料(3ヶ月毎の各種データ)」 <https://www.resorttrust.co.jp/ir/library/supplementary/>

# appendix

# 会員基盤と利用者層の拡大 (グループ経済圏の最大化)

RESORTTRUST GROUP

地域	富裕層世帯	23.3会員数	23.3浸透率	20万人時点推計
関東	約65万世帯	約5万人	8%	14%
中部	約23万世帯	約4万人	17%	21%
関西	約24万世帯	約4万人	16%	20%
その他	約37万世帯	約1万人	2%	3%

## グループ経済圏(利用者層)の拡がり

グループ施設  
利用者層

会員の家族親族、  
ゲスト利用者、  
法人従業員の  
福利厚生/健診  
(数百万人規模)

外国人  
(富裕層中心)

国内中小企業  
のオーナー数  
凡そ350万法人  
(法人需要増加)

アプリ会員  
約40万人

LINE導入  
約25万人

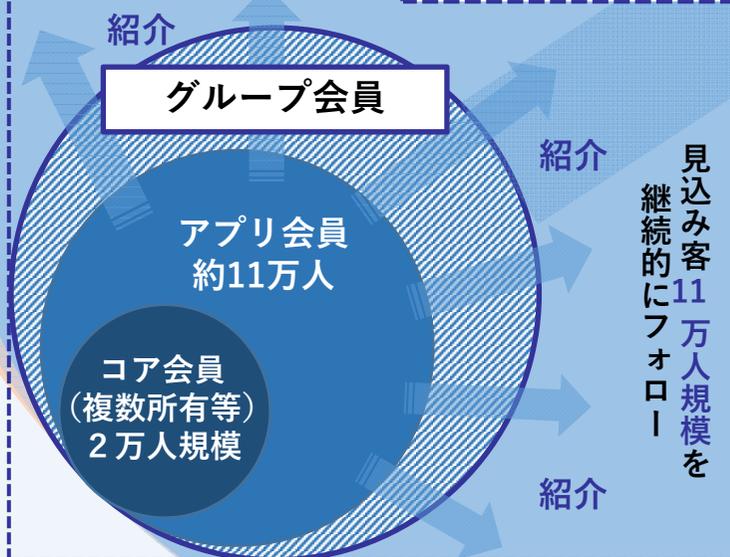
国内富裕層(2021年)149万世帯  
(2019年比12%増)

純金融資産: 364兆円

※(株)野村総合研究所 推計データより  
※富裕層の定義: 純金融資産1億円以上保有

先10~15年程を視野にした  
グループ会員層の拡がり

(将来)グループ会員  
名寄せ後 20万人規模へ



オーナー層からその周辺の利用者層まで  
デジタルツールを活用し経済圏を活性化

# 提供価値 (サービス領域の拡大/社会価値の創出イメージ)

RESORTTRUST GROUP

「余暇」「健康」に「未来への価値観」を融合させた一歩先の豊かさの提案

より環境に配慮した  
最先端の施設開発と  
最上のホスピタリティ

健康寿命の延伸  
予防医学・未病研究

余暇領域

健康領域

## 顧客との関係性の深化

### 会員制事業としての 新たな価値創造へ

<顧客フォローの最適化>  
究極のテーラーメイドサービス

<会員制プラットフォーム>  
会員同士のネットワークによる活性化

<共感・ロイヤルティ>  
顧客との社会価値の創出

既存施設への  
リノベーション投資、  
地域活性化  
地産地消、雇用創出、  
関係人口増加

ウェルビーイング  
実現に向けた  
ソリューション開発

一事業を通じた社会価値の創出一

# 長期ビジョン（10年後のありたい姿）

RESORTTRUST GROUP

<各部門の10年後の目指す姿より>

お客様との  
一生涯のお付き合い  
に向けた  
商品・サービスの追求

Try! The Excellent  
Hospitality!  
～世界に誇れる  
ホスピタリティ  
グループへ～

**一緒に、いい人生**  
～より豊かで幸せな時間（とき）を創造します～

『人生100年時代の健康長寿、  
パーソナル・ウェルビーイングへの  
貢献』

プロフェッショナルな  
クリエイティブ人財集団

最も働きやすく  
働きがいのある職場環境

<事業/グループとしてのあり方>

・顧客基盤と圧倒的な個々のブランド力を基に、グループ独自のランチェスター戦略を体現



※各事業の領域でNO.1を実現し、且つ互いにシナジーを最大化する

・全てのステークホルダーと強い共感・信頼関係で繋がり、社会に豊かさを創造する倶楽部

# SDGs・サステナブル経営への取り組み①

## <現状の取組みスケジュール>

2023年度	3Qまで (実績)	4Q (実績)
重要課題 (マテリアリティ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>マテリアリティ目標決定 (次頁)</li> <li>施設・地域との連携PJ推進</li> <li>第三回サステナビリティ委員会 (10月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設・地域との連携PJ推進</li> </ul>
GHG(温室効果ガス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2022年度GHG排出量算出</li> <li>太陽光パネルの設置 (浜名湖、六甲、山中湖、湯河原、横浜、軽井沢)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開業済み全拠点 (36か所) において太陽光パネルの設置完了</li> </ul>
TCFD/TNFD	<ul style="list-style-type: none"> <li>TNFDフォーラムへの参画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「TNFD Adopter」に登録 (ダボス会議にて「Early Adopter」として公表)</li> </ul>
社内浸透 情報開示	<ul style="list-style-type: none"> <li>サステナビリティフォーラムの実施 (毎月)</li> <li>グループ全スタッフ対象の価値創造アイデア募集プロジェクトの推進</li> <li>社内へのラインワークス配信とホームページでのオウンドメディア発信</li> <li>eラーニングの実施</li> </ul>	

※サステナビリティ委員会の議題・参加者はサステナビリティサイトに掲載しております  
<https://www.resorttrust.co.jp/sustainability/management/>

## <参考：前年>

2022年度	1Q (実績)	2Q (実績)	3Q (実績)	4Q (実績)
重要課題 (マテリアリティ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>マテリアリティ項目案選定</li> <li>リスク/機会のシナリオ検討</li> <li>重要性評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一回サステナビリティ委員会(7月6日)</li> <li>マテリアリティ決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第二回サステナビリティ委員会(1月11日)</li> <li>サステナビリティ方針の制定</li> <li>マテリアリティ目標/指標項目検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マテリアリティ目標/指標項目検討 (担当部門との協議)</li> </ul>
GHG(温室効果ガス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年度-2020年度GHG排出量算出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>TCFD賛同表明</li> <li>2021年度GHG排出量算出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GHG排出量削減目標/計画決定</li> <li>TCFD提言に基づく開示(1月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GHG排出量削減計画の実行 (太陽光パネル設置 他)</li> </ul>
社内浸透 情報開示	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsカラーホイールバッジ配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サステナビリティサイト更新</li> <li>社内SNSを活用した事例紹介等、社内浸透活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>eラーニングの開始</li> <li>スタッフからの価値創造アイデア募集企画実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイデア募集企画の選考</li> <li>サステナビリティサイトのリニューアルオープン</li> <li>サステナビリティフォーラムの開催</li> </ul>



国内全てのホテル36拠点に太陽光パネル設置が完了 (投資額は約20億円規模)。クリーンエネルギーの活用とともに、発電によって15年間の償却期間で設置コストを回収する見込み。

# SDGs・サステナブル経営への取り組み②

RESORTTRUST GROUP

## < GHG削減目標の決定、TCFD提言に基づく開示を公表 >

■GHG排出量削減目標	2030年	2050年
Scope1, 2 (連結) の削減	40%削減 <2019年比>	カーボンニュートラル 達成

- ・国内全てのリゾートホテルへ太陽光パネルを設置、ホテル26施設へEV充電器を拡充
- ・既存設備の最適化、再生可能エネルギーの導入
- ・新たな蓄電技術や水素発電等、次世代型エネルギーの研究等、順次取り組んでいきます

TCFDが提言する情報開示フレームワーク（気候変動のリスク・機会に関するガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標）に沿った開示は、以下のリンクを参照ください。

[https://www.resorttrust.co.jp/sustainability/environment/carbon\\_neutral/](https://www.resorttrust.co.jp/sustainability/environment/carbon_neutral/)

## < GHG排出量の算定結果（2019-2022年度） >

Scope1,2(連結) ※2023年度実績は6月以降にHPで公開予定。(単位:tCO<sub>2</sub>)

排出の内容	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
各施設での燃料(ガソリン・重油等)および電力の使用等による排出	142,706	131,270	136,522	134,245

### Scope3 (単体)

排出の内容	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
仕入や設備投資など事業の上流・下流における排出	139,786	153,406	116,915	185,102

※2022年度以降はScope3も連結で開示予定。22年度連結実績は234,454tCO<sub>2</sub>。

## < マテリアリティ項目 >

区分	カテゴリ	リゾートトラストグループのテーマ	マテリアリティ	KPI目標	関連ゴール
E	地球	環境負荷の低減 (自然と共に生きつづける)	①GHG排出量の削減	○GHG(Scope1,2)の削減量(連結) 2030年：2019年度比40%減 2050年：カーボンニュートラル	   
			②廃プラスチック・食品ロスの低減	○特定12品目の提供量削減量(単体) 2027年度：2019年度比40%減	
			③生物多様性の保全	○食品廃棄物の再生利用等実施率(単体) 2027年度：65.6%	
S	繁栄	「ご一緒に、いい人生」の実現 グループ独自の付加価値の協創	④一人ひとりの人生に寄り添うサービスの提供	○会員数(連結) 2027年度：22.5万名	    
			⑤サービスの品質・安全性・革新性の追求		
			⑥地域活性化への貢献		
	人	スタッフの「いい人生」	⑦ダイバーシティ&インクルージョンの推進	○女性管理職比率(連結) 2027年度：25%	   
			⑧全スタッフの「しあわせ」の追求	○男女間賃金格差(連結) 2027年度：75%	
			⑨能力・キャリアの開発	○男性育児休業取得率(連結) 2027年度：85%	
G	ガバナンス	ガバナンス強化	⑩透明性の高い公正な事業運営	ガバナンス・リスク・コンプライアンス体制を強化し、投資家との建設的な対話を通じて、企業価値向上に努めてまいります。	
			⑪非財務情報の開示とステークホルダーとの対話促進		

※世界経済フォーラム (WEF) が2020年9月に公表したESG報告ガイドライン『ステークホルダー資本主義指標』に基づきカテゴリを整理しています。

# 評価売上高／評価営業利益の算定（決算ハイライト）

RESORTTRUST GROUP

【年間連結業績】／【年間営業利益、評価営業利益の過去3ヵ年推移】 評価加減算の内訳

（百万円）

< 評価加減算内訳 >	2022年3月 実績	2023年3月 実績	2024年3月 実績
繰延（不動産売上）	+ 18,753	+33,724	+ 29,221
繰延実現（不動産売上）	-	-	△ 18,529
収益認識基準の変更	+2,091	+1,750	+ 2,779
<b>売上高評価加味</b>	<b>+ 20,845</b>	<b>+ 35,474</b>	<b>+ 13,471</b>
繰延（不動産利益）	+ 7,295	+8,337	+ 7,436
繰延実現（不動産利益）	-	-	△ 7,435
収益認識基準の変更	+2,091	+1,750	+ 2,779
<b>営業利益評価加味</b>	<b>+ 9,387</b>	<b>+10,087</b>	<b>+ 2,780</b>

※P.2において、会計数値に以下の要素を加味することで、評価数値を算出しております。

※収益認識基準変更影響の内、ポイント会計部分は影響が軽微なため、算定に含みません。

# セグメント別実績詳細（4-3月）

RESORTTRUST GROUP

## 【会計ベースセグメント業績】

(百万円)

		2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月	前年比	2024年3月	修正計画比
		実績	実績	前々年実績	前年実績	実績		修正計画	
会員権	売上高	38,948	66,523	40,946	34,945	58,701	+68.0%	60,610	△3.1%
	営業利益	13,559	22,951	11,887	11,182	<b>18,798</b>	+68.1%	18,400	+2.2%
ホテル レストラン	売上高	80,659	60,322	73,699	89,747	95,492	+6.4%	94,130	+1.4%
	営業利益	92	△ 6,165	261	4,167	<b>4,494</b>	+7.9%	5,180	△13.2%
メディカル	売上高	38,867	40,022	42,432	44,422	46,899	+5.6%	46,590	+0.7%
	営業利益	5,829	6,341	5,736	6,053	<b>7,164</b>	+18.4%	6,930	+3.4%
その他	売上高	670	670	704	714	710	△0.5%	670	+6.0%
	営業利益	663	531	766	687	<b>767</b>	+11.7%	780	△1.6%
本社	営業利益	△ 8,491	△ 8,952	△ 9,959	△ 9,820	△ <b>10,105</b>	△285百万円	△ 10,290	+185百万円
合計	売上高	159,145	167,538	157,782	169,830	<b>201,803</b>	+18.8%	202,000	△0.1%
	営業利益	11,652	14,707	8,693	12,270	<b>21,119</b>	+72.1%	21,000	+0.6%

# 物件別契約高詳細（4-3月）

RESORTTRUST GROUP

## 【物件別契約高内訳】

(億円)

	2020年3月 実績	2021年3月 実績	2022年3月 実績	2023年3月 実績	2024年3月 実績	※ 2024年3月 販売進捗率 (累計契約高)	2025年3月期 通期計画
新規物件①	—	—	—	—	—	—	359
新規物件②	—	—	—	—	—	—	93
サンクチュアリコート日光	—	—	—	272	405	87.7%	98
サンクチュアリコート琵琶湖	—	—	16	421	234	82.9%	145
サンクチュアリコート高山	—	—	390	26	99	90.8%	55
ザ・カハラクラブハワイ	19	6	4	8	6	—	—
横浜ベイコート	227	187	21	9	13	—	7
ラグーナベイコート	109	55	15	10	17	—	12
XIV 六甲SV	8	14	109	12	3	—	—
芦屋ベイコート	79	151	16	12	13	—	12
XIV 湯河原離宮	24	21	72	14	12	—	—
他既存ホテル	102	110	84	40	35	—	59
会員権セグメント計	567	543	727	826	838	—	839
ゴルフ	4	8	10	7	9	—	4
ハイメディック	57	69	74	72	87	—	74
合計	628	621	811	905	934	—	917

# 物件別売上高詳細（4-3月）

RESORTTRUST GROUP

## 【会員権セグメント売上 物件別内訳】

(億円)

	2020年3月 実績	2021年3月 実績	2022年3月 実績	2023年3月 実績	2024年3月 実績	2025年3月期 通期計画
新規物件①	-	-	-	-	-	303
新規物件②	-	-	-	-	-	79
サンクチュアリコート日光	-	-	-	232	343	82
サンクチュアリコート琵琶湖	-	-	13	359	198	121
サンクチュアリコート高山	-	-	330	22	83	45
ザ・カハラクラブハワイ	8	3	2	4	3	-
横浜ベイコート	202	162	18	8	11	6
ラグーナベイコート	98	49	13	9	15	11
XIV 六 甲 SV	7	13	99	11	3	-
芦屋ベイコート	71	134	14	11	12	11
XIV 湯河原 離宮	20	17	55	11	10	-
他既存ホテル	83	79	61	29	21	44
ホテル会員権計	489	456	606	695	698	703
繰延売上	横浜ベイコート	△107	+201	-	-	-
	日光	-	-	-	△139	△192
	琵琶湖	-	-	△7	△193	△100
	高山	-	-	△180	△5	+185
	新規物件①	-	-	-	-	-
	新規物件②	-	-	-	-	-
全ホテル計	382	657	419	358	591	759
その他	7	8	△9	△9	△4	2
会員権セグメント計	389	665	409	349	587	761

# ホテルレストラン／メディカルセグメント 売上高詳細 (4-3月)

RESORTTRUST GROUP

## 【ホテルレストラン等セグメント売上内訳】

(百万円)

	2020年3月 実績	2021年3月 実績	2022年3月 実績	2023年3月 実績	2024年3月 実績	2025年3月 通期計画
エクスィブ	32,626	25,987	29,477	36,555	39,424	40,313
サンメンバーズ	4,117	1,379	1,506	2,507	3,143	3,303
トラスティ	6,511	2,232	2,711	1,667	2,328	2,446
ベイコート	9,035	7,482	8,518	11,125	12,561	12,910
サンクチュアリコート	-	-	-	-	46	4,122
年会費収入	8,449	8,895	9,520	9,611	9,615	10,840
保証金償却収入	3,544	3,511	4,052	4,061	3,885	3,951
ザ・カハラ・ホテル&リゾート	7,998	4,101	8,230	13,290	14,830	16,778
その他	8,377	6,731	9,682	10,929	9,655	11,053
合計	80,659	60,322	73,699	89,747	95,492	105,720

## 【メディカルセグメント売上内訳】

(百万円)

	2020年3月 実績	2021年3月 実績	2022年3月 実績	2023年3月 実績	2024年3月 実績	2025年3月 通期計画
ハイメディック事業	16,479	18,457	18,693	20,310	22,164	24,085
MS法人事業(一般健診)	6,275	5,905	7,648	7,916	8,161	8,709
プロダクトセールス事業	2,540	2,512	2,635	2,563	2,712	2,915
シニアライフ/先端医療	12,299	13,304	13,579	13,622	14,091	15,170
その他(消去含む)	1,272	△157	△124	9	△230	△141
合計	38,867	40,022	42,432	44,422	46,899	50,740

本資料より区分名称を一部見直しております(現状の組織区分に沿っての名称変更であり数値の影響はございません)

# 施設運営状況詳細（4-3月）

RESORTTRUST GROUP

## 【ホテル運営状況】

宿泊者数

(千人)

	2020年3月 実績	2021年3月 実績	2022年3月 実績	2023年3月 実績	2024年3月 実績	2025年3月期 通期計画
エクシブ	1,761	1,254	1,567	1,912	1,995	2,048
サンメンバーズ	366	98	122	200	245	251
トラスティ	685	240	323	197	235	239
ベイコート	281	234	281	358	396	405
サンクチュアリコート	-	-	-	-	2	146

稼働率

(%)

	2020年3月 実績	2021年3月 実績	2022年3月 実績	2023年3月 実績	2024年3月 実績	2025年3月期 通期計画
エクシブ	48.0	35.5	44.8	54.1	55.9	57.4
サンメンバーズ	57.5	16.6	33.2	54.0	64.5	67.2
トラスティ	77.0	24.9	39.1	76.7	85.1	86.4
ベイコート	43.1	33.5	36.8	47.0	52.7	54.4
サンクチュアリコート	-	-	-	-	64.1	74.5

消費単価

(円)

	2020年3月 実績	2021年3月 実績	2022年3月 実績	2023年3月 実績	2024年3月 実績	2025年3月期 通期計画
エクシブ	18,523	20,716	18,810	19,116	19,760	19,680
サンメンバーズ	11,228	11,880	10,223	11,232	12,810	13,141
トラスティ	9,492	9,267	8,395	8,456	9,894	10,241
ベイコート	32,098	33,695	32,291	32,877	33,337	33,321
サンクチュアリコート	-	-	-	-	29,133	28,311

## 【シニアレジデンス運営状況】

	2020年3月 実績	2021年3月 実績	2022年3月 実績	2023年3月 実績	2024年3月 実績	2025年3月期 通期計画
全施設平均入居率 (%)	88.5	88.3	87.5	86.2	87.0	88.2
居室数合計 (室)	2,100	2,097	2,095	2,094	2,093	2,093

# 貸借対照表（2024年3月末）

RESORTTRUST GROUP

	2023年3月期末 (前期)	2024年3月期末 (当期)	増減		2023年3月期末 (前期)	2024年3月期末 (当期)	増減
<b>流動資産</b>	<b>187,964</b>	<b>200,525</b>	<b>+12,561</b>	<b>流動負債</b>	<b>156,695</b>	<b>177,946</b>	<b>+21,250</b>
現金及び預金	28,467	31,752	+3,285	仕入債務	1,738	1,787	+49
売上債権	11,632	11,314	△317	借入金	12,608	10,405	△2,203
営業貸付金・割賦売掛金	93,877	100,586	+6,709	未払金	26,219	34,470	+8,250
有価証券	10,817	8,758	△2,058	前受金	95,402	110,219	+14,817
商品・原材料・貯蔵品	2,524	2,945	+420	前受収益	15,020	15,116	+96
販売用不動産	4,914	5,388	+473	その他	5,706	5,946	+240
仕掛販売用不動産	26,139	30,110	+3,971	<b>固定負債</b>	<b>159,414</b>	<b>155,011</b>	<b>△4,403</b>
その他	9,591	9,668	+76	長期借入金	13,487	2,172	△11,315
<b>固定資産</b>	<b>252,035</b>	<b>268,040</b>	<b>+16,004</b>	長期預り保証金	115,887	123,157	+7,270
有形固定資産	176,133	192,389	+16,256	長期前受収益	29	0	△29
無形固定資産	6,157	6,146	△11	長期リース債務	20,985	20,535	△449
繰延税金資産	19,345	18,594	△751	その他	9,025	9,145	+119
その他	50,399	50,909	+510	<b>負債合計</b>	<b>316,110</b>	<b>332,957</b>	<b>+16,847</b>
				<b>純資産合計</b>	<b>123,889</b>	<b>135,607</b>	<b>+11,718</b>
				株主資本	114,826	125,394	+10,567
				自己株式	△3,064	△5,483	△2,418
				その他の包括利益累計額	6,112	9,460	+3,348
				非支配株主持分	6,014	6,235	+221
<b>資産合計</b>	<b>439,999</b>	<b>468,565</b>	<b>+28,565</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>439,999</b>	<b>468,565</b>	<b>+28,565</b>

# 連結キャッシュ・フロー計算書（4 - 3月）

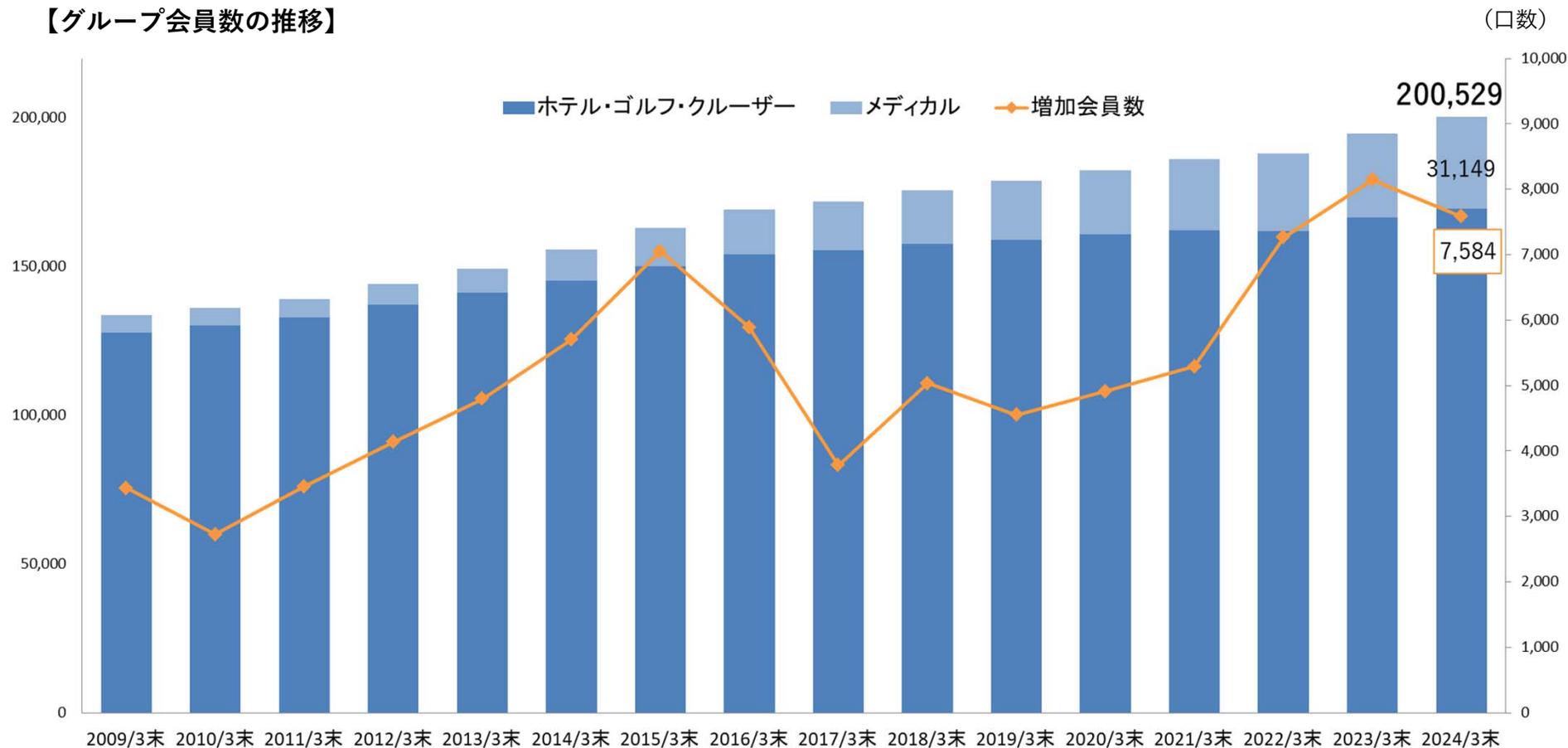
RESORTTRUST GROUP

(百万円)

	2023年3月 (前期)	2024年3月 (当期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,285	39,116
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,314	△ 12,519
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 30,995	△ 23,310
換算差額	112	47
現金及び現金同等物の増減額	△ 283	3,334
現金及び現金同等物期首残高	29,210	28,926
現金及び現金同等物期末残高	28,926	32,260

# 会員数の長期推移

【グループ会員数の推移】



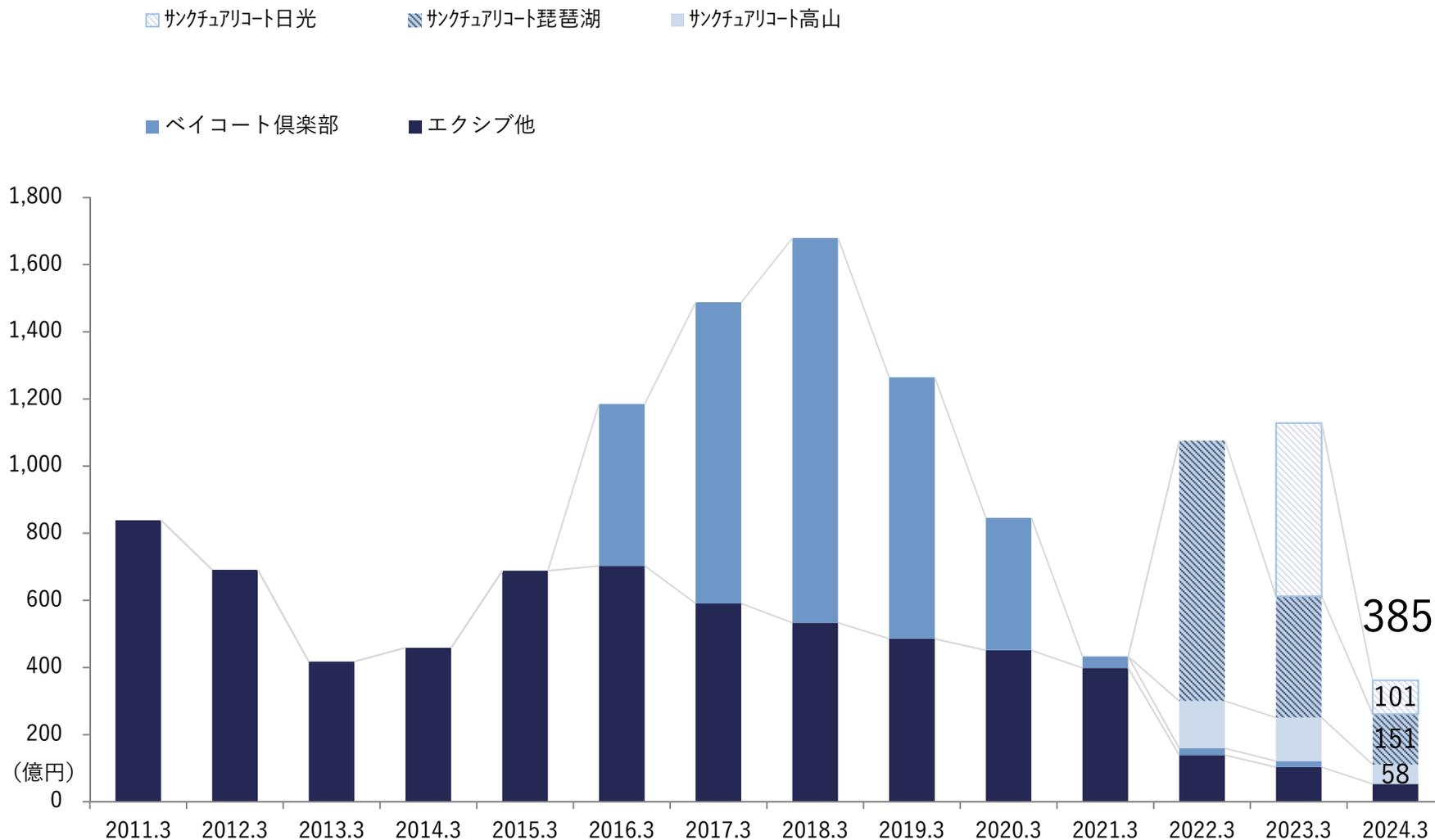
	サンチュアリコト	ベイコート	エクシブ	サンメンバーズ	ゴルフ	メディカル	クルーザー	カハラ	合計
2023年3月末	8,157	23,886	79,780	22,998	30,129	28,367	434	1,113	194,864
<b>2024年3月末</b>	<b>12,933</b>	<b>23,772</b>	<b>79,702</b>	<b>21,179</b>	<b>30,044</b>	<b>31,149</b>	<b>419</b>	<b>1,331</b>	<b>200,529</b>
2024年3月期増減	+4,776	△114	△78	△1,819	△85	+2,782	△15	+218	+5,665
2023年3月期増減	+5,167	+149	+434	△1,481	+15	+2,130	+23	+266	+6,703

XIV+BCC+HM +カハラ+SAC 合計	<b>+7,584</b>
	<b>+8,146</b>

<会員権を複数所有されているケースについては、それぞれの会員権で1名ずつカウントしております>

# 販売在庫（契約高ベース）の長期推移

## 【ホテル会員権の契約高在庫】



※カハラクラブ ハワイを含まず

# 繰延収益詳細 (期末ベース)

※販売した期に不動産収益が計上されることを前提とし(±0)、繰延べられる期には△、実現する期には+として表記

(単位:億円)

事業年度	2016年3月期実績		2017年3月期実績		2018年3月期実績		2019年3月期実績		2020年3月期実績		2021年3月期実績		2022年3月期実績		2023年3月期実績		2024年3月期実績			
未開業(繰延)物件契約高	六甲SV 45億	芦屋 301億	湯河原 123億	ラグーナ 200億	六甲SV 32億	芦屋 125億	横浜 72億	ラグーナ 208億	六甲SV 25億	横浜 130億	横浜 227億	横浜開業	琵琶湖 16億	高山 390億	日光 272億	琵琶湖 421億	高山 26億	日光 405億	琵琶湖 234億	高山開業
繰延(不動産売上・利益)	売上	利益	売上	利益	売上	利益	売上	利益	売上	利益	売上	利益	売上	利益	売上	利益	売上	利益	売上	利益
サンクチュアリコート																				
日光																				
繰延(△)																				
繰延実現(+)																				
サンクチュアリコート																				
琵琶湖																				
繰延(△)																				
繰延実現(+)																				
サンクチュアリコート																				
高山																				
繰延(△)																				
繰延実現(+)																				
横浜ベイコート																				
繰延(△)																				
繰延実現(+)																				
ラグーナ																				
ベイコート																				
繰延(△)																				
繰延実現(+)																				
XIV六甲SV																				
繰延(△)																				
繰延実現(+)																				
芦屋ベイコート																				
繰延(△)																				
繰延実現(+)																				
XIV湯河原離宮																				
繰延(△)																				
繰延実現(+)																				
XIV鳥羽別邸																				
※2014年3月より販売開始																				
繰延(△)																				
繰延実現(+)																				
影響額合計(単年度)																				
	△132	△46	△75	△23	+62	+34	+189	+61	△105	△34	+201	+71	△188	△73	△337	△83	△107	△0		

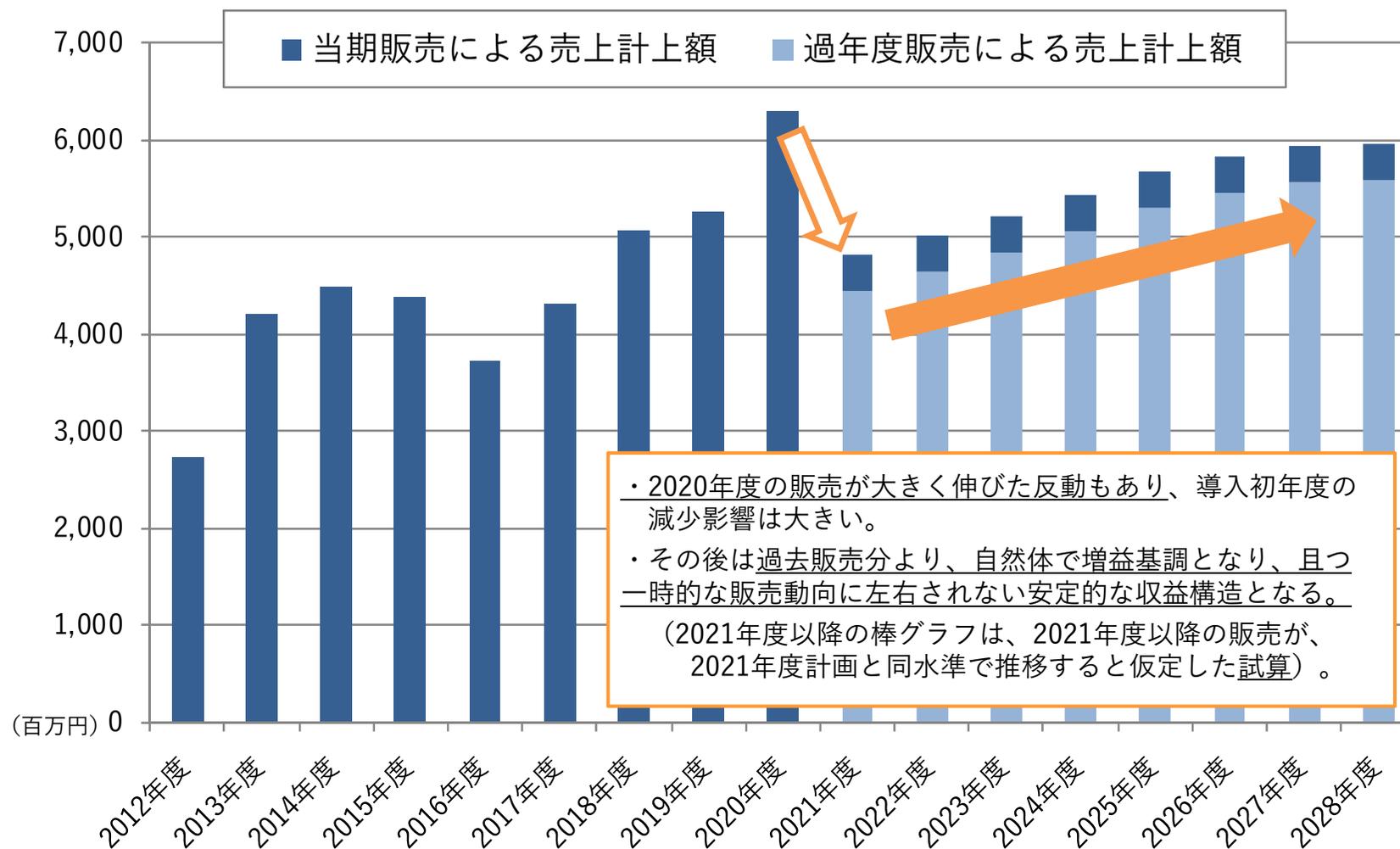
※繰延実現利益(+)の実績値には、予定原価と確定原価の差異を含む

# 2021年度以降 収益認識基準の変更に伴う影響

RESORTTRUST GROUP

<収益認識基準変更に伴う影響 (ハイメディック登録料) >

- ・2021年度以降、販売に伴う登録料を一定期間（8年間）で償却して売上計上する（残りは前受金でBS計上）。
- ⇒当該年度の登録料計上額は、販売時より一定期間（8年間）を遡った過去販売分を加味して再計算される。（結果として2021年度の登録料計上額は、2012年度以降の各単年度販売額の平均値に近い値になる。）



ご一緒に、いい人生



※ 本資料には、将来の業績に係る記述が含まれています。  
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包する物です。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。

リゾートトラスト株式会社 サステナビリティ推進部

<https://www.resorttrust.co.jp/ir/index.html>